

# えだまめの生産安定

## ねらい

徳島市や石井町で盛んに栽培されるえだまめは、JAが共同選果施設を整備したこともあり、西日本でも有数の産地となっています。

しかし、小型トンネルやミニパイプハウスを用いた5月から6月に出荷する促成栽培においては、ダイズシストセンチュウによる被害が確認され、茎葉の黄化や減収が問題となっています(図1)。

また、露地作型では、令和5年産以降、高温や乾燥の影響により、落花や不稔莢(図2)が多発し、収量が激減しています。

そこで、えだまめの生産安定のための技術確立を図るため、緑豆すき込み法によるダイズシストセンチュウ防除効果の検証と夏場の高温障害を回避するネット栽培試験(図3)を実施しました。



図1 ダイズシストセンチュウによる被害



図2 不稔莢の発生



図3 防虫ネット栽培

## 活動地域・対象

徳島市(一部石井町)のえだまめ生産者

## 普及活動の目標

①ダイズシストセンチュウの密度低減 ②高温障害軽減による夏場の収量確保

## 目標に向けた活動概要

### ①緑豆すき込み法によるセンチュウ防除効果の検証

えだまめ収穫後に緑豆を9kg/10a播種し、約3週間栽培した後にすき込みました。

緑豆播種前とすき込み後に採土し、土壌中のダイズシストセンチュウの卵密度を計測して、密度低減効果を確認しました。

### ② 高温障害を回避するネット栽培試験

JA徳島市とJA全農とくしま、種苗メーカーと連携し、防虫ネット栽培試験を2カ所で実施しました。

播種日：5月8日、5月14日

試験区：防虫ネット1mm目合区

防虫ネット0.8mm目合区

無被覆区

(防虫ネットは、播種後にトンネル被覆)

収穫日：7月25日、7月31日

品 種：(高温耐性品種) 鈴だるま・青祭、(慣行品種) 湯あがり娘

表1 緑豆栽培スケジュール

日付	内容
3月15日	えだまめ播種
5月31日	えだまめ収穫
7月23日	採土・緑豆播種
8月16日	緑豆すき込み・入水
9月6日	採土



播種作業

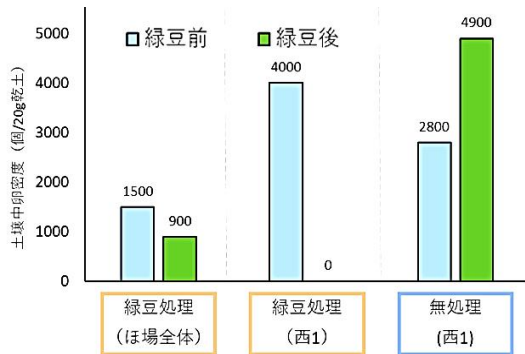


収量調査

## 普及活動の成果

### ① 緑豆すき込み法

緑豆の生育は順調で、3週間程度で30~40cmほどに生育しました。



緑豆の播種前及びすき込み後の土壌中センチュウ卵密度を計測した結果、場所により差が見られましたが、4~9割以上密度が低減しました(図4)。



緑豆栽培の様子



緑豆

図4 ダイズシストセンチュウの卵密度の推移

### ② ネット栽培試験

無被覆区では出荷可能な莢はほとんどありませんでしたが、試験区では、ネットの遮光効果で秀品率が大幅に増加し、収量も大きく向上しました(図5)。また、ネットの目合による収量の差は無く、0.8mmまたは1mm目合で栽培が可能となりました。

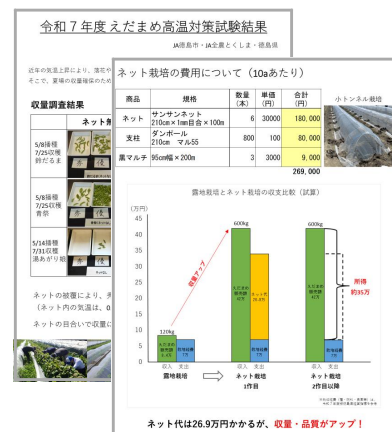
試験成績を講習会等で報告したところ、徳島市では2.2ha(28戸)で新規にネット栽培を導入することになりました。



栽培講習会

	ネット無し	1mmネット	0.8mmネット
5/8播種 7/25収穫 鈴だるま			
5/8播種 7/25収穫 青祭			
5/14播種 7/31収穫 湯あがり娘			

図5 収量調査の結果



ネット栽培推進資料

## 今後の発展方向

ダイズシストセンチュウ対策として、防除マニュアルを普及するとともに、高温対策にはネット栽培を推進し、出荷量を拡大させることで、えだまめ産地全体の安定生産を目指します。

## 生産者からの声

- 緑豆は栽培期間が短く、散粒機での播種ができるためセンチュウ対策として導入しやすい。
- ネット栽培は、高温対策に効果があるので、これからもネット栽培を拡大していきたい。

## 徳島農業支援センター

連絡先：徳島県徳島市新蔵町1丁目67 tel：088-626-8771